

# さい



10月号

# 家庭健康大学開講

九月二十二日、佐井地区家庭健康大学が、振興センターで開講されました。受講者は九十名と、予想をはるかにこえ講師の先生方もびっくりされておりました。この家庭健康大学は、家族の健康を守ること、家庭の健康管理者であるお母さん方が熱心に勉強されておりました。あと十一回ありますから全員そろって修了証書を手にとられるよう頑張ってください。



開講式風景

## 矢越地区老人クラブ発足

### 会長に川畑徳次郎さん

矢越地区老人クラブ発足会が九月二十五日、矢越青年会館で開催されました。老人のかかえているいろいろな問題をクラブを通じ行政に反映させる。又、会員相互の健康増進を計るべきだとの活発な意見が出されました。名称は、水蓮クラブと決定しました。役員は次の通り選任されました。

- |     |        |
|-----|--------|
| 会長  | 川畑 徳次郎 |
| 副会長 | 中村 菊次郎 |
| 会 計 | 館脇 すみ  |
| 幹 事 | 福田 喜三郎 |
| 顧問  | 中村 やさ  |
| 幹 事 | 館脇 政太郎 |
|     | 川畑 留吉  |
|     | 宮本 卯之吉 |

## 長後元気一盃の会

### 長後老人クラブ発足

九月三十日発足会が開かれ、だれにでもわかりやすい、名称は若い者に負けず老後を元気いっぱい暮らそうとの事で、長後元気一盃の会と決定しました。役員は次の通りです。

- |     |        |
|-----|--------|
| 会長  | 大坂 浅次郎 |
| 副会長 | 池田 力松  |
| 会 計 | 池田 ちん  |
| 幹 事 | 大石 清三郎 |
| 顧問  | 大石 そよ  |
| 幹 事 | 池田 定吉  |
|     | 木下 重吉  |
|     | 大石 健次郎 |
|     | 内田 昇治  |
|     | 滝本 よしゑ |

## 自然保護のために

### 縫道石山雑感 大石 健次郎

昭和三十一年八月のある日、新第三紀石英斑岩の縫道石山（六百二十六メートル）の露峰は、沛然たる雨にさらされていた。

その頂頭には、横なぐりの雨脚に叩かれ、刺すような飛沫を浴びて——三人の男が動いていた。一人は資源科学研究所の黒川道氏、一人は植物研究家の森治氏、そして私。

御両人は、平手で顔面を容赦なくつたわる雨水を払いつつ、熱ぼい話を交わし、敏捷な動きで、岩肌にびったり張りついている、黒色の地衣を、丹念に調査しては採集しつづけた。こうして豪雨の中に一時間近くもいた。私は何がな

んだか、さっぱり判らなかつた。黒色の地衣——北米東部と、シベリヤの岩場にしか知られていない、第四氷期の遺物である「オオウラヒダイワケ」の、日本でただ一ヶ所の群生地はこうして発見されたのです。

この日は、北国特有の冷霧が、この付近一帯に立ちこめて、視界三メートル前は見えない状態であった。現在の歩道はなく、カモシカ道にふさわしい柚路を、ガイドの田中俊一さんは苦労しながら先導してくれた。ようやくの思いでヒバとブナの混交林の大樹海をくぐり抜けて、石山近くに至った時は、視界ゼロメートルの有様で、ヒバの枝葉が複雑に地を低くおおっている、矮小木地帯に踏み迷ったときは、皆が四つ這えになつて進む難渋ぶりであった。

それ程、当時はうっ蒼とした大樹海が、砦となつて石山を囲んでいたものです。昭和三十六年、親の心子知らずの私は、父母と別居し、妻子七人の生活のために、造林人夫となつて福浦の飯場に入った。

私は縫道石山を心から好きです。この時に、暇をみつければ、何枚も目を注いでスケッチをしたものです。今も大事に保存している。この折に、石山付近の歩道作業に加わったのですが、午前七時ごろから、午後三時ごろまで、明らか

に雌雄二羽と思われるコーハズク（声の仏法僧）が、至近で、ブツクワン ポォーッ・ブツクワン ポォーッ と、金属性の音をたたきつけるように、樹海にひびかせていた。この嘔鳴には身のふるえる程の感銘をおぼえ、センダイムシクイの、チョチヨジイの声と共に今も忘れることはない。

当時の、嘔鳴期（五月〜六月）には、真昼でも、仏法僧の声を、易々と聞くことができたものです。そして、コルリ、ジュイチ、アカシヨウビン、マミジロ、オオアカゲラ、アオバト、エゾムシクイなどの深山性の鳥類が多いことを確認し、こうしたことから、折しも

佐井管林署には土屋昭七氏、高松一郎署長たちの、自然保護に卓越した識見家がいり、また植物の森治氏の奮起も併せて力となり、青森管林局では、佐井管区の石山付近の天然林伐切の禁止となつた。しかしながら、残念きわまりないことは、「佐井村福浦の縫道石山は石英斑岩の露峯としてそびえるが、景観的にすぐれているだけでなく、生物学的にも貴重である。最近この山の直下までヒノキアスナロー——ブナ林の皆伐作業が進められていくが、この山とその麓の植生は是非特別保護地域として残すことが望まれる」（日本自然保護協会調査報告第十八号一九六五年三月）とあるように、昭和三十

八年に川内宮林署側は、一片の顧慮もなく、きれいに皆伐裸状としたことは衆目の見るところである。当時の川内管区内には役人はいて人物がいなかった証拠であろう。

このために幾種類もの鳥類を石山付近から追放し、オオウラヒダイワタケの寒冷湿度をうばってしまつたことは、識者の指摘するところである。今にして思えば一大痛恨となつてしまつた。

本年九月三日、「朝日科学」の佐々木記者、森治氏、今修一氏と私の四人は、オオウラヒダイワタケ調査のため石山に向つた。晴天に屹立する岩肌に、弘大山岳部がアイゼンを打ち鳴らし、ザイルを引いて、旺んにロッククライミングをしていった。

年々ここを練習場にする者や一般登頂の者が殖えて、知らずのうちに、この貴重な「地衣」を踏みにじり剥がしてゆく。この日の登頂に至つて、私は愕然として声をのんだ。

昭和四十四年の地下資源調査の折、名取氏と登頂したのであるがその際より一段と荒廃が烈しく、ましてや発見当初の群生は、無惨にも影をうしなつて瞭然としていた。

今にして、「絶対立入禁止」の一部制限をなすべきと信じるものである。一度破壊された自然の、復元は至難であり、時として不可

能だからである。

胸の痛くなる一刻であつたが、正後近く私は眼下の岩場の一角から、すいすいと飛びたつた鳥影をみて、ハッと息をのみ緊張した。「ホシガラス」カケスではない。

尾端の白線を、くつきり染めていゝ。ホシガラスである。この個体は、びらひらと、岩陰に没したが間もなく二度三度と至近へあらわれて休止、皆のカメラに収められた。

岩場上方から斜めにカメラを構え、矮小のヒバへ止つたこの鳥をねらつていた今修一氏が、「やつたぞ、撮つたぞ」と叫んだとき、私は思わず雀躍した。光線の具合で、体のチョコレート色が黒藍にかがやき、白星斑がアラレのよう

に鮮かであつた。佐井の記録として、福浦校内に飛びこんだものを放鳥(森)、縫道石山で幼鳥を伴つた十羽群(松島、古川、四十一年十月)、アナム上空四十〜五十メートル一羽(大石、四十四年八月二十一日)のものがある。

この鳥は、昭和三十一年四月二十日乗鞍岳(清棲氏)で本邦初の巣が発見され、同年五月四日長野県野尻宮林署阿寺国有林で、作業員早川氏が二回目を発見し、水野氏が公表した。

阿寺国有林のものは、「つばめ岩」という絶壁(頂上は海拔千五

百メートル。垂直に百メートルの石山)で、周囲はヒノキ天然林でおどろく程に縫道石山に似ている。いま、あれやこれやと思いをめぐらし、縫道付近は決してこれ以上荒廃させるべきでないと思う。帰途、目にふれた、わずかの湿度にすがりながら可憐に花を白く広げる「ダイモンジソウ」、小粒で軟弱な紅白色の花びらを、ふるわせている「ミヤマタニタデ」、わけても、十二も十三も碧色の玉実をつけた「ツバメオモト」を忘れることはできない。

### まかど温泉日帰り旅行記 老人クラブ寿会

石沢 みき

敬老の日も間近い、九月十一日秋晴れの一日を私達は、まかど温泉への日帰り旅行をしました。朝七時出発、四十三名のどの顔も楽しそうに喜びにかがやいています

十時半温泉到着、廊下を通つて室内に入りくつろぐ。早い時間の出発で朝食をとらないで来たので持参の弁当を開き家族の者の心づくしの御馳走をいただく。お茶を呑んで入浴する人、雑談に花を咲かせるグループ、横になり疲れをいやしている人、さまざまです。少し

休、三百年前に建築されたという津軽、南部地方の豪農の家だという津軽山荘や南部山荘薬師堂山門を見学しました。日本随一の高さを誇る山門は、見事な高さです。薬師堂は、建築が新しいので額の古さと一見、ちぐはぐな感じをうけた。自在カギの吊るされた広々とした昔の民家は明治生まれの私達の幼い日の、ろばたでの生活が思い出され居間のひとつ、ひとつに愛着を感じました。そして現代には見られぬ昔のよさを思い起した。とびいしづたいに見る池には

ゆあみして

老醜まざまざ

見るつらさ

自在かぎ

ろばたの亡母の

背を思う

飛び石に

つまづきわれの

老を知る

### わが村の病気の事態

— 国保統計から —

往復ともバスの中で全員、のどじまんが飛び出し明治、大正、昭和とあらゆる年代の歌がつきつきと歌われガイドさんもびっくりしていた。ガイドさんはとても美声の持ち主でイタコの口よせなんか堂に入ったもので感心しました。特に帰途のバスで歌われた、弥三郎節はなんとも言われぬ上手な歌

この統計は、昭和四十七年五月(一ヶ月)に国民健康保険被保険者が、お医者さんに診療を受けた分のもので、一年間を分合計してみますと多少の違いが見られますが、ある程度村民の病気の事態がおわかりになると思います。

尚、昭和四十七年五月分の医療費の件数は一、一三二件、医療費は四百二十九万四千円です。

**罹病率ベスト六**

- 1、高血圧性疾患 一七二件
- 2、急性呼吸器系感染 一六九件
- 3、その他の呼吸器系の疾患 一三六件
- 4、歯の疾患 九八件
- 5、扁頭肥大及びアデノイド 八一件
- 6、神経系の疾患 四六件

**医療費ベスト六**

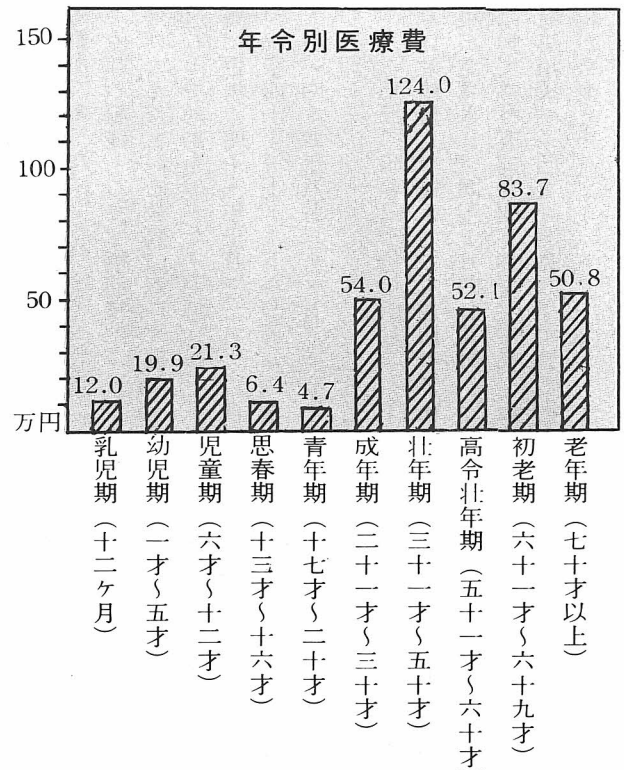
- 1、高血圧性疾患 五五六千円
- 2、筋骨格系の疾患 四二六千円
- 3、急性呼吸器系感染二九七千円
- 4、胃及び十二指腸の疾患 二七三千元
- 5、歯の疾患 二六三千元
- 6、泌尿器系の疾患 一五二千元

**46年度一人平均一万二千二百三十七円**  
 こんなにかかった医療費  
 総額で四千百三十一万円

国民健康保険に加入している皆さんが、四十六年度に使われた医療費は、四千百三十一万円で、村で支払った「七割給付分」「乳児妊産婦一部十割給付分」は、二千九百二十万三千円です。

**医療費がふえると**

国民健康保険の費用は、国が四十五%、税金が二十五%、残り三十%は、一部負担金としてみなさんが直接お医者さんに払う分によ



**世帯更生資金を  
活用して下さい**

この資金の活用によって一人でも多くの人が自立更生して幸せな生活を

- ①、資金貸付の対象者とは、日本人であること
- ②、低所得世帯（おおむね生活保護基準の一、五倍まで）真に自立更正の意欲のある人
- ③、民生委員の指導や助言をすなおに受けるような人
- ④、他の金融機関から、融資を受けることができない人

- ⑤、身障者の場合は、身体障害者手帳を持っている人
  - ⑥、住民登録をしてからおおむね六ヶ月を経過していること
- 二、申込希望者は  
地区担当民生委員に、ご相談お申し込み下さい。民生委員は親切にご相談に応じます。

資金の種類	貸付限度額	償還期間 (年)	貸付の特例
更生資金	生業費 月以内 200,000	1年	貸付限度 月に必要と認められる場合 400,000円以内
	支度費 30,000	6年	
身障者更生資金	生業費 月 15,000	3年以内	貸付期間 3年以内
	支度費 30,000	6年	貸付限度 月に必要と認められる場合 400,000円以内
生活資金	技能修習費 月 3,000	1年	貸付期間 3年以内
	生活費 月 11,000	6年	貸付期間 技能修習費又は職業資金部受入
福祉資金	50,000	6年	老人、身体障害者等が機能訓練施設及び日常生活の便宜を図るための器具の購入費 50,000円以内 松本市、電気及暖房設備に必要経費 50,000円以内 結婚に際し必要経費 50,000円以内 出産に際し必要経費 30,000円以内 転宅に際し必要経費 18,000円以内 葬祭に際し必要経費 16,000円以内
	住宅資金 300,000	6年	
学費資金	高専 校 月 3,000 高専1.2.3年 月 3,500 国立高専4.5年 月 3,000 私立高専 4.5年 月 4,000 国立短大 月 6,000 私立短大 月 7,000	6年	貸付限度 時に必要と認められる場合 高専 校 月 4,000円以内 高専1.2.3年 月 6,000円以内 国立高専4.5年 月 6,000円以内 私立高専4.5年 月 7,500円以内 国立短大 月 8,000円以内 私立短大 月 9,500円以内
	自学支度費 自宅 (高校、高専) 15,000 通学 (短大) 20,000 自宅外 (高校、高専) 20,000 通学 (短大) 30,000	6年	
療養資金	100,000	6年	貸付限度 時に必要と認められる場合 450,000円以内
災害復旧資金	150,000	1年	



# 保健婦だより

## 栄養相談

### 一、器具の消毒

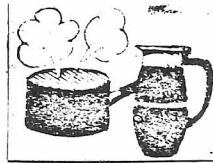
イ、熱に強い器具（例えば哺乳びん等）は深い鍋に入れ、七から八分煮沸する。

ロ、熱に弱い器具（例えば乳首等）は、ふきんに包んで沸騰している湯に三〜四分間入れる。

ハ、消毒後は湯を切って鍋に保管するか、または盆に乗せてきれいなふきんをかぶせておく。

### 二、粉乳の溶かし方

イ、湯は一度沸騰させ、五十分〜六十度にさます。



ロ、哺乳びんに指定量の二分の一〜三分の二の量の湯を入れる。



ハ、次に所定の粉乳を入れ、軽く振って溶かす。



二、溶けた残りの湯を加えて所定の量とする。

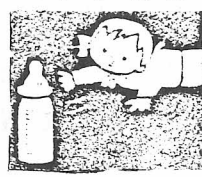


### 三、ミルクの飲ませ方

イ、赤ちゃんを抱いて授乳する。



ロ、乳首を十分に口に含ませ



乳首の中にミルクが満ちているように、哺乳びんをかたむけて飲ませる。

ハ、飲み終わったらまっすぐ抱いて静かに背中をさすったり軽くたたいたりして、ゲップを出させて寝かせる



二、ミルクは飲むだけ与え、無理に与えてはいけません。



四、ミルクをいやがる場合の与え方

イ、ミルクを無理に与えない。

ロ、哺乳時間外でもほしがらうになったら与える。

ハ、お腹をすかせる努力をする

ニ、乳を少し薄めたり、果汁を加えたりして与えてみる。

### 五、母乳不足の見分け方

イ、いつまでも乳首に吸いついて放さない。（哺乳時間の延長、哺乳間隔の短縮）

ロ、便の回数が減り、固くなる

ハ、夜泣きが多くなる。（夜泣き、睡眠障害）

ニ、体重のふえ方が悪くなる。（発育が悪くなる）

### 六、母乳分泌の促進

イ、母親の食事の改善

ロ、激しい精神の動揺は乳汁分泌に影響が大きいので、精神を平穏に保つようにする。

ハ、睡眠不足、過労、運動不足にならないよう生活を整える

ニ、乳腺に刺激を与えるようにする（乳房マッサージ、温湿布等）。

## 交通安全教室

子どものしつけはこうして

三才ごろから習慣づけよう

子どものしつけや教育は、赤ちゃんとときから？、といわれますが、交通安全教育は、子どもの人格や行動に独立心が芽ばえる三才ごろから、少しずつ身につけさせ、これを習慣づけるように教えることが大切です。

あまり禁止的な指導はよくない

「ああしてはいけない」「こうしてはいけない」というよりも、正しいやり方や、教えたことを実行したときには、ほめてやる方が効果があります。とくに反抗期の子どもには注意してください。

## 秋季大掃除が実施されます

清掃法により秋の大掃除指導日が決定しましたから、屋内及び屋外の側溝等を清掃して下さい。

十月十八日	野平	午前十一時から
十月十九日	大佐井	午前九時から
十月二十日	古佐井	午前九時から
十月二十三日	原田	午前九時から
	川目	午後一時から

## 犬の放し飼いはできません!!

最近、犬の放し飼いがふえ、かみつきの田畑等の被害のため苦情が多くなっております。又、犬を飼う時は登録し定期的に予防注射を受けなければなりません。

一、犬の登録をしないと

二、犬の注射をうけないと

三万円以下の罰金

三、犬を放しておくとも罰金

一万円以下の罰金

## 観光地に思う

弘前市 山田照美

飢饉海峡のイメージをもって訪ねましたが色がどりが豊富で、弘前と何ら変わる点が無くいささかがっかりしました。

特に某温泉地の接客の態度には同じ県に住む者として怒りを感じました。下北に傷つけるに充分でした。船に極端に弱い私は別輩が秘境仏が浦に遊ぶ間、陸で帰りを待ちましたが其の間、宮川秀一氏御夫妻とお逢い出来た次第です。勿論初対面でしたがウニを食べさせて下さいました。いろいろ海のお話をして下さいました。人情のうすれゆく最近世相に反し佐井の方々の豊かな民情に強く打たれ帰省後逢う人のすべてにこの話をしている次第です。

この日、京都四条よりの観光団

も見えていたが、さいはての地北を訪ねる人の数々が私と同じくあたたく迎えられているものと思うとき青森県に住む者の一人として誇らしく思えます。自然のおりなす景勝の地いわくある史実にも増して旅の人をなぐさめる情こそ大切なのでは。

旅人とわが名よばれん  
はつしぐれ

芭蕉

奇岩、紅葉、山海の珍珠はあしに失われても心のふれ合いは永遠のものと思えます。老御夫妻の御厚情に強うたれ、つい筆をとりました。

**国民たすけあい共同募金**

**運動に協力しましょう!!**

期間 十月一日から  
十月三十日まで (一ヶ月間)

共同募金運動については、みなさまのご協力をいただきその目的を達成して参りましたことに対して厚くお礼申し上げます。

さて、国民運動として共同募金は昭和二十二年発足以来今年で二十五周年を迎えることになりました。この運動は、国民総がかりでなしとげる愛の助けあいであり、全国の数多くの不幸な方々を慰め励しあう社会福祉事業の一環として行なわれているもので、本県でも意識を高揚し県内福祉事業がもつ機能や特色を発揮するために県

民が出し合い、計画のもとに配分することを目的として、募金運動を進めています。佐井村季節保育所のおやつ代、遊具費として多額の金額が配分され、その他老人クラブ、身体障害者、生業資金の貸付、災害の見舞金等に役立っています。

当村でも、これが目標額完遂のため次の通り募金運動を実施することになりました。期間中、募金委員がお伺いいたしますから多少にかかわらず御協力下さい。

昨年(昭和四十六年)は、みなさまの御協力により目標額の十万二千二百円に対し、十一万一千九百五十二円と九千七百五十二円も伸びました。

**秋の火災予防運動**

**実施について**

期間 自十月二十一日  
至十一月十日 (二十一日間)

火災予防思想の普及については日頃格別のご協力をいただき厚くお礼申し上げます。さて火災多発期を迎えるにあたり火気使用とともに住民ひとりひとりの防火意識の向上を図り、火災の発生防止と人命損傷事故の絶滅を期するため本運動を実施することになりました。次から次の点に充分注意して下さい。

**最重要事項**

一、石油ストーブの正しい使い

**方**

二、老人、子供、病人等一人留守居の防止と就寝場所の適正  
その他

1、くらしのなかの防火再点検  
ア、販売器具と家庭用燃料の正しい取扱

イ、火気使用場所の安全点検  
ウ、たばこの投げ捨てと寝たばこの防止  
エ、家族ぐるみの防火会議

2、旅館等における安全避難  
ア、避難路の確保

イ、避難誘導の徹底

尚、期間中、消防団及び常備員が管内を巡回しますので、よろしくご協力下さい。

**消防専用電話の新設について**

九月二十六日から佐井消防分署(旧役場庁舎)に新設されましたのでお知らせします

「電話、佐井局 一一九番」

火災発生するとき、電話交換手が出ましたら必ず「火事」と呼んで下さい。(平常のときでも一一九番です)

**おわび**

広報九月号で各部落の最年長者をのせましたが、一部あやまりがありました。訂正しておわびします。

大佐井 東出 なよ 明治十四年七月八日生

富岡 ヨシ 明治十四年四月五日生  
矢越 福田 かよ 明治二十六年二月二十日生  
川畑 なみ 明治二十五年九月二十九日生

**村政の窓口**

九月六日 振興センター、庁舎修  
九月二十二日 健康大学開校式  
九月二十七日 定例議会  
九月二十八日  
九月二十九日

**こよみと行事**

十五日 村民体育大会  
十七日 貯蓄の日  
十八日 ゴミ回収  
二十日 土用  
二十一日 ゴミ回収  
二十四日 ゴミ回収  
二十七日 ゴミ回収  
三十日 ゴミ回収

**戸籍の窓口**

お誕生おめでとう  
九月二十九日現在

佐々木俊信 (俊寛) 古佐井  
越膳 優子 (定春) 福浦  
福田 朝樹 (勝) 磯谷  
木部 英樹 (紀一) 原田  
正憲 (秀子) 古佐井

**ご結婚おめでとう**

丸山 璋 (台東区)  
越膳ひで子 (福浦)  
川原 勉 (古佐井)  
浅井 京子 (野辺地町)  
米沢 憲彰 (大間町)  
金沢り子 (原田)  
関谷 雪男 (瀬戸市)  
紀伊あつ子 (古佐井)  
坂井 照男 (牛滝)  
金田さち子 (青森市)  
熊谷 義隆 (むつ市)  
大石 則子 (長後)  
島 行司 (長後)  
高橋 悦子 (帯広市)  
滝本 清昭 (長後)  
滝本 千代 (長後)  
島野 直壽 (大佐井)  
花田 菊江 (御坂町)  
掛村 正一 (平館村)  
佐賀 映子 (古佐井)  
田中 幸次郎 (みや) 磯谷

ご逝去おくりやみ申します。

人口と世帯	人	人	人	世帯数	世帯	世帯
男	2,377	女	2,489	計	4,866	1,118
世帯数	1,471	世帯	1,118	世帯	1,118	47.10

**編集と発行**

佐井村役場《総務課》  
協同印刷

**表紙の説明**

完成した振興センター  
庁舎